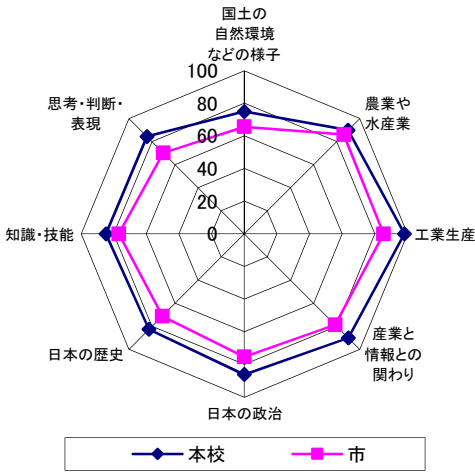


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	75.0	65.7	67.0
	農業や水産業	89.9	86.1	77.5
	工業生産	98.0	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	90.1	78.6	69.6
	日本の政治	86.1	75.2	65.8
	日本の歴史	82.7	71.1	69.1
観点別	知識・技能	84.8	77.0	72.8
	思考・判断・表現	84.4	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は市の平均より高い。 ○●日本の気候の様子について、説明に当てはまる雨温図と都市の位置を判断する設問では、市の平均を13.8ポイント以上上回った。その一方で、約4割の児童が雨温図から都市を選ぶ問題で、都市の特色を理解することが難しい児童が見られる。	・気候の様子に着目し、都市の位置を考えられるような指導をしていきたい。
農業や水産業	平均正答率は、市の平均より高い。 ○圃場整備の資料に着目して、米作りの生産効率について、考え表現する設問では、市平均より9.1ポイント上回った。 ●米作りの作業の理解をもとに資料を読み取る設問では、市平均より2.4ポイント下回った。	・米の生産や日本の食料自給率について正確に資料を読み取ることができている。普段の生活の中で食料生産に関心をもたせ、農業と自分の暮らしが密接にかかわっていることを資料を活用して丁寧に読み取らせていきたい。
工業生産	平均正答率は、市の平均を上回り、また他の領域よりも高い。 ○工業製品の種類についての設問では、市平均より7.7ポイント上回り、全児童が正答だった。 ○ガソリンカーと電気自動車と比較する設問では、市平均より17.6ポイント上回り、電気自動車のよさを理解している。 ●資料の図から解答を書くのが容易と思われるが、排気ガスに触れずに別の回答を書いた児童が見られた。	・資料をもとに内容を読み取って、内容にあった表現ができるような指導をしていきたい。
産業と情報との関わり	平均正答率は、市の平均より高い。 ○情報を受け取る側として気をつけることを、正しく理解している。 ●マスメディアの役割や社会的責任については、市の平均を上回っているが、やや誤答も見られる。	・マスメディアが発信する情報にはどのような影響力があるかを想起させることで、情報を正しく活用しようとする意識を高めていきたい。
日本の政治	平均正答率は、市の平均より高い。 ○憲法における権利と義務や、人権を守るために三審制が必要であることを、正しく理解している。 ●国会がどのような目的のもとで運営されているかについては、やや誤答がみられる。	・わたしたちが生活するうえで必要な権利を守るために様々な法律があることに気付かせ、その法律を制定する役割を担う国会の必要性が感じ取れるようにしていきたい。
日本の歴史	平均正答率は、市の平均より高い。 ○日本の歴史に関する様々な設問において全体的に市の平均正答率を上回り、よく理解できていた。 ●平清盛についての設問や、室町文化の特徴についての設問では、市の平均を上回っているものの69.3%であった。	・日本の歴史の学習において、今後も丁寧に指導していくとともに、その時代の主な出来事については、どうしてそのようなことが起きたのかなど、時代の背景や人物の様子などにより具体的に出来事を捉え考えていくことができるよう指導していきたい。併せて、資料をもとに読み取ったことを書くなど、書いて表現する活動を授業で取り入れていきたい。